

竹早だより

平成27年度2月号
平成28年2月29日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

卒業式を迎えるにあたって

校長 高田 純一

運命は笑ひ待ちをり卒業す 高浜虚子

この句の「笑ひ」をどのようなものと捉えるかは人様々だと思います。明るい未来を祝福する句と捉えるか、シニカルで不気味な笑いと取るかです。私は後者のような気がしてなりません。いずれにせよ「一寸先は闇」の人生、どんな運命が待ち受けているかわかりませんが、果敢に挑戦し、自分の力で未来を切り拓いてほしいものです。

さて、その卒業式がいよいよ間近に迫ってきました。3年生の皆さんの胸にはどんな思いが込み上げているのでしょうか。高校の卒業は、小中学校からの卒業とは一味違い、いよいよ社会に巣立っていくという特別な節目となります。ここまで育ててくださった保護者への感謝を忘れず、新たなそれぞれの道に向かって歩み始めてほしいものです。

在校生の皆さん、皆さんは卒業式のもう一方の主役です。厳粛で思い出に残る卒業式となるよう、立派な態度で式に臨んでほしいと思います。

竹早小を借用した避難訓練の実施について

3学期「避難訓練」を3月11日（金）の学年末考査終了後に行います。

今回は、避難場所として、本校に隣接する東京学芸大学附属竹早小学校の中庭を借用します。このような避難訓練は、本校として初めての試みとなりますが、その理由を説明します。

本校での避難訓練の際の集合場所は、通常グラウンド又は体育館ですが、本当に校舎から出火した場合、屋外に避難するしかありません。そのためには全校生徒が集合できる広場が必要となります。

そういう意味で、竹早小を借用しての避難訓練は貴重な経験です。1・2年の皆さん、先生の指示に従って速やかに行動し、避難訓練を実のあるものにしてほしいと思います。（ただし、雨天の場合は体育館への集合となります。）

ところで、3月11日（金）は、東日本大震災から5年目という節目の日になります。曜日まで5年前と同じ金曜日です。生徒の皆さんは、小5～中1という年齢だったわけですが、あの日のことは、はっきりと覚えていることでしょう。

5年というのは長い年月ですが、今なお全国には18万人もの避難生活者がいます。震災は決して過去のものではありません。皆さんも「宿泊防災訓練」などで学んだことを思い出して、次への備えを日々怠らないようにしましょう。



＜隣り合った両校の校門＞

合唱コンクールを実施

2月12日（金）平成27年度「合唱コンクール」を実施しました。日ごろの練習の成果を発揮し、どのクラスもベストを尽くして素晴らしい歌声を響かせてくれました。1・2年の保護者の皆さんも161名来校いただき、熱心に鑑賞していただきました。寒い中、ありがとうございました。



〈最優秀賞〉2年A組



〈優秀賞〉1年E組



〈第3位〉2年C組



コーラス部の発表

※インフルエンザによる2学年の学級閉鎖、学年閉鎖に際して、多くの方にご心配をおかけしました。お蔭さまで、ようやく終息に向かうことができました。

3月・4月の主な行事予定

〈3月〉

- 5（土）卒業式
- 8（火）学年末考査（1・2）始
- 11（金）学年末考査（1・2）終
- 20（日）**春分の日**
- 21（月）**振替休日**
- 25（金）修了式
- 26（土）春季休業日始

〈4月〉

- 5（火）春季休業日終
 - 6（水）始業式
 - 7（木）入学式
 - 29（金）**昭和の日**
- ※4月の予定は概略です。

